［東庄町］　東庄町社会福祉協議会笹川支部



子どもたちとのふれあいを大切に 小学校と連携したきめ細かな福祉活動を実現

ふれあいタイム

千葉県の北東部、豊かな水をたたえる利根川のそばに位置し、県内有数のイチゴの産地としても知られる東庄町。この町の福祉活動拠点となる東庄町社会福祉協議会（以下、東庄町社協）には４つの社協支部があり、そのすべてが小学校に事務局を設置しているのが大きな特長です。その中の一つである東庄町社会福祉協議会笹川支部（以下、笹川支部）の事務局も笹川小学校に設置されているため、高齢者を対象とした事業はもちろんのこと、子どもたちとの交流も大切にして活動しています。

おじいちゃん、おばあちゃんがヒーローに!?

笹川支部と笹川小学校との連携が最も色濃く表れているイベントが、年１回、５月に同校のグラウンドで開催される「ふれあいグラウンドゴルフ大会」です。

この大会には、毎年約40人もの高齢者と50人ほどの笹川小学校に通う５年生の子どもたちが参加し、チームを組んでプレーします。グラウンドゴルフと子どもたちとのふれあい、その両方を楽しめるこの大会を楽しみにしている高齢者は数多く、毎年、開催日が近くなると問い合わせが来るほどの人気イベントとなっています。

東庄町はグラウンドゴルフが盛んな地域で、グラウンドゴルフ場も各地区にあります。マイクラブなど自分の道具を持っている人も少なくありません。そのため、本大会は「おじいちゃんやおばあちゃんが、子どもたちのヒーローになれる日」になるのです。

子どもたちも総合学習の時間に練習を行ったうえで大会当日に臨んでいるのですが、簡単そうに見えるグラウンドゴルフも実際にプレーしてみると想像以上に難しく、子どもたちはクラブをボールに当てるのに一苦労。しかし、一緒にプレーしている高齢者はいとも容易くクラブを振り抜き、遠くにあるホールポストへとボールを導きます。その姿に子どもたちは「おじいちゃん、おばあちゃんってスゴいっ！」と目を輝かせるのだそうです。

プレーが終わった後にはふれあいタイムがあり、簡単なクイズやゲーム、そして肩たたきなどをしながらさらに交流を深めます。最後にグラウンドゴルフの表彰式と景品の授与が行われ、最後まで明るく楽しい雰囲気のままに大会は終了となります。



ふれあいグラウンドゴルフ大会

これを機に顔見知りになった高齢者と子どもたちが、近所で顔を合わせると互いに挨拶を交わして話をするようになるなど、地域のコミュニティづくりにも役立っています。

ニーズに応じたサロン活動で高齢者を支援

高齢者福祉にも力を注ぐ笹川支部では、毎年「ふれあいいきいきサロン（以下、サロン）」事業も展開しています。サロンは年に２回程度開催しており、特に決まった開催日や開催場所はありません。「サロンを開催したい」という声が上がれば、その地区の集会所や区民館等を利用して開催しています。様々な地区が開催場所となる可能性があるため、足腰に自信のない人でも、自宅の近くで開催された時に参加することができます。



ふれあいタイム

プログラム内容も明確に定まっているわけではないので、開催するごとに工夫を凝らしたプログラムが展開されます。ちなみに平成26年５月に開催したサロンには24名が集まり、手話を使って「ふるさと」を歌ったり、大正琴の演奏を楽しんだりしたそうです。ニーズに応じて柔軟に対応できるのが、このサロンの魅力です。

また、サロン事業の中で、町民バスを利用して日帰りの「研修バスツアー」を行うこともあり、こちらも参加者に人気のイベントとなっています。平成26年６月に開催された同ツアーには25人が参加。芝山町の「航空科学博物館」を見学したり、栄町の「房総のむら」で地域の伝統的な生活様式や技術を体験したりと、みんなが笑顔で小旅行を楽しみました。

ふれあいが生む絆で地域の課題を乗り越える

笹川支部では、身近な場所により多くの人が気軽に集まれる場を用意することや、家に引きこもりがちな高齢者にサロンに足を運んでもらう方法を考えることなどを今後の課題としています。

そして、今後も地域の人々や子どもたちとのふれあいを大切に、堅実に活動を積み重ねていきたいとのことです。



いきいきサロン

東庄町社会福祉協議会

はつらつ支援ボランティアが今後のサロンを変えていく



左から、笹川支部の事務局（笹川小学校教務主任）平澤徳彦さん、副支部長 城之内典子さん、支部長 森田公治さん、東庄町社協の菅野梢さん、菅谷義夫さん

東庄町と東庄町社協共催で平成25年度から「はつらつ支援ボランティア養成講座」を開催し、高齢者の介護予防などに寄与する活動を行うボランティアを養成しています。講座の修了者は現在48名で、東庄町社協ではこの「はつらつ支援ボランティア」の協力を得てサロンの運営を行う方向へと舵を切っています。

その理由としては、①地域住民の力で地域住民を支える体制を目指していること、②同講座の修了者の多くは他のボランティア団体にも所属しているため、その団体の特性を活かしたさまざまなサロン活動が行えること、③サロンは比較的小規模で不定期に実施しているため、少人数のボランティアでも対応が可能であることなどが挙げられます。

平成26年度は4回、各社協支部と「はつらつ支援ボランティア」が連携してサロンが開催されました。手品を披露したり、ゲームやクイズで遊んだりと、それぞれの会場で工夫を凝らしたレクリエーションが行なわれています。さらには、傾聴ボランティアのグループに所属している「はつらつ支援ボランティア」がサロンの中で傾聴の時間を設けたところ、普段人と話す機会が少ない参加者に喜ばれた――というような相乗効果も生まれています。

東庄町社協では今後も「はつらつ支援ボランティア」ならではの強みを生かしたサロンの運営を目指していきます。

※東庄町人口：14,988人　65歳以上人口：4,668人　高齢化率：31.1％（平成26年4月現在）